

燕の品質管理

燕商工会議所(燕市、山崎悦次会頭)は28日、中小企業の品質管理体制の強化を目的に今年度創設した「TSO(ツバメ・スタンダード・オーガニゼーション)」を12社が取得したと発表した。品質管理に取り組む燕のものづくりを全国にPRし、地元企業の受注

独自認証 12社取得

商議所、受注拡大図る

拡大につなげる。同日、有識者などで構成する審査委員会を開き、TSO取得に取り組んだ燕市と新潟市の全12社の取得を認めた。今後も定期的に取り組み状況を調査し、品質管理の向上を促す。

認証を取得した企業は「ものづくりの過程を明文化し再現性のある形にしていくことで現場の雰囲気も変わってきた」(後藤鉸業)とした。TSOは国際規格の「ISO9001」を参考にし、認証基準を作った。ISOより安価に取得できるのが特徴だ。12社は昨年夏からTSOの基準を満たすよう品質管理に取り組んできた。2012年度は5月にTSOの説明会を開催し、40社が認証を取得することを目指す。